

## 我が家の防災メモ

我が家の避難所

家族が離ればなれになったときの集合場所

### 家族の緊急用データ

氏名	生年月日	連絡先	電話番号	血液型	既往症

## 災害用伝言サービス

ため池決壊による災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話が繋がりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、次のサービスがご利用いただけます。



災害用伝言ダイヤル **171**

電話で安否情報(伝言)の録音と再生ができます。

**171**  
をダイヤル

録音するときは、**①**をダイヤル ⇒

被災地の方も、被災地以外の方も ⇒

伝言を入れる

再生するときは、**②**をダイヤル ⇒

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする ⇒

伝言を聞く

災害用伝言板 (Web171) <https://www.web171.jp/>

スマートフォン・携帯電話・PCなどから災害用伝言板(web171)にアクセスして、テキストによる安否情報(伝言)の登録と確認ができます。

※このほかにも携帯電話会社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法は各社ホームページなどで確認してください。

## ため池ハザードマップに関するお問い合わせ先

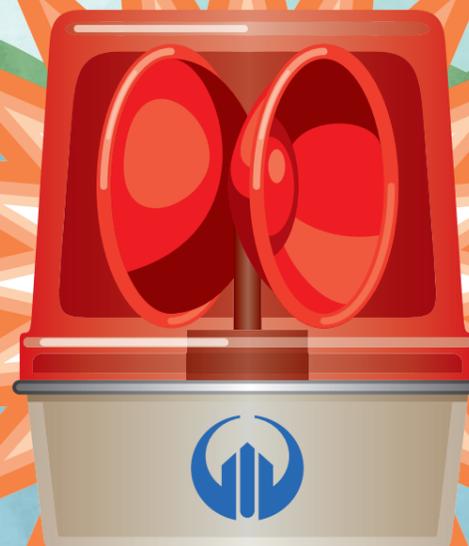


川崎町役場 農林振興課

〒827-8501 福岡県田川郡川崎町大字田原789-2  
TEL:0947-72-3000(内線 224) FAX:0947-72-3416  
<https://www.town-kawasaki.com/>

令和三年(2021年)4月発行

# 川崎町ため池 ハザードマップ



私たちの使命は、  
安心・安全を皆さんにお伝えすることです。

川崎町役場

# はじめに

この「川崎町ため池ハザードマップ」は、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さ、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合や決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

はじめに.....	P 1
ため池ハザードマップの使い方.....	P 2
状況に応じた避難をしましょう.....	P 3
被害の正確な情報を知りましょう	
最新情報を確認しましょう.....	P 4
ため池決壊のメカニズム.....	P 5
避難時の非常持ち出し品の事前の準備.....	P 6
川崎町防災重点ため池位置図.....	P 7
①号四郎池.....	P 9
②野呂ヶ池.....	P11
③小松ヶ池.....	P13
④西法寺池.....	P15
⑤成谷池.....	P17
⑥六郎原池.....	P19
⑦松ヶ迫池.....	P21
⑧手ノ浦池.....	P23
⑨第1芦毛溜池.....	P25
⑩第2芦毛池.....	P27
⑪石橋池.....	P29
⑫谷山池.....	P31
⑬長尾池.....	P33
⑭大師池.....	P35
⑮大王池.....	P37

# contents

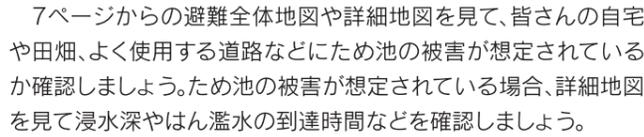
# 川崎町ため池ハザードマップ

## ため池ハザードマップの使い方

**1** **ため池が決壊するときの状況を知る**  
地震や豪雨により、ため池が決壊するおそれがあるときの状況はさまざまです。いつ、どんなときにため池が決壊するのか、このハザードマップを読んで、覚えておきましょう。



**2** **地図を見て、どこにどのような被害が想定されているかを知る**  
7ページからの避難全体地図や詳細地図を見て、皆さんの自宅や田畑、よく使用する道路などにため池の被害が想定されているか確認しましょう。ため池の被害が想定されている場合、詳細地図を見て浸水深やはん濫水の到達時間などを確認しましょう。



**3** **どこに避難所があるか場所の確認をする**  
避難所の場所は、ため池ハザードマップの9ページからの紙面で避難所を確認しておきましょう。地域ごとに避難所が指定されていますが、収容人数などの制限がありますのであらかじめ確認が必要です。



**4** **あらかじめ避難ルートを家族で話し合う**  
避難全体地図や詳細地図を見て、皆さんの自宅からの避難ルートを考えましょう。ため池が決壊する状況では他の災害にも気をつける必要があります。※地震や洪水など詳しい情報は、川崎町防災マップなどをご確認ください。



**5** **家族で避難のシミュレーションをする**  
このため池ハザードマップを持って、避難ルートを歩いてみましょう。災害時に危険そうな場所や、避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探し、見つけた場合には避難全体地図や詳細地図に書き込んでおきましょう。



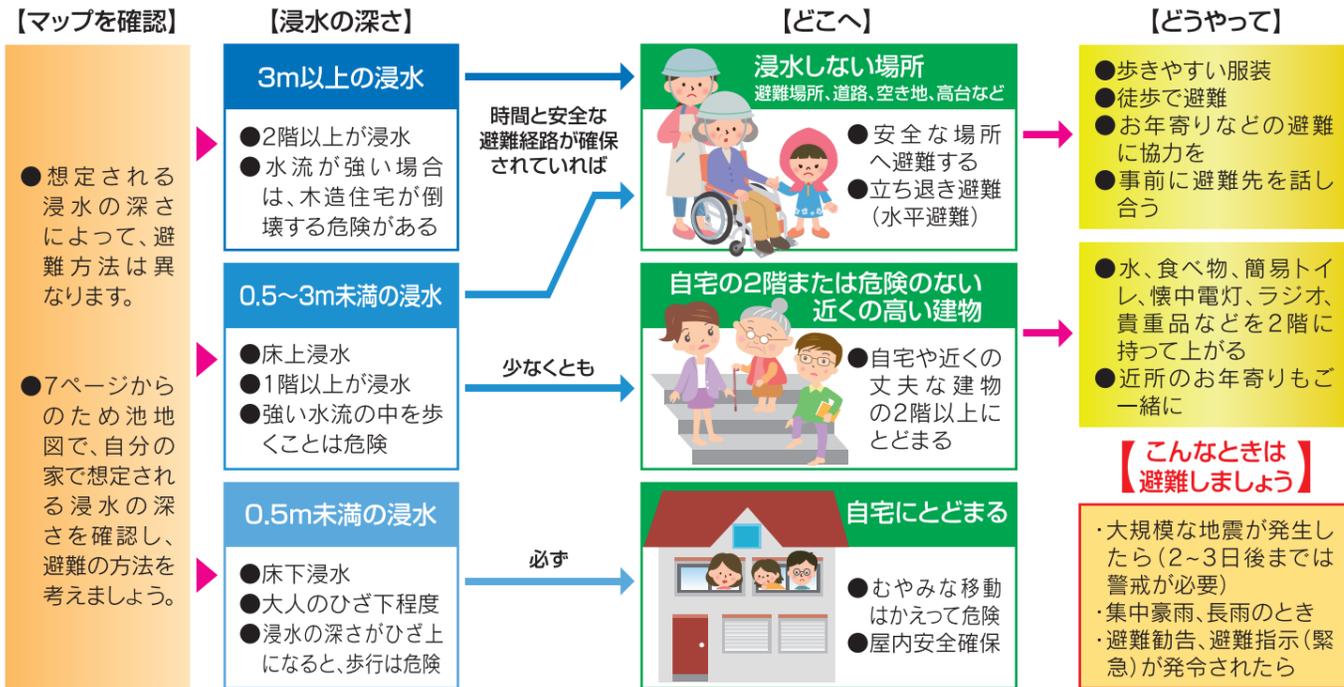
**6** **家族みんなで話し合い、我が家の防災メモを完成する**  
家族が離ればなれのときに災害が発生することも考えられます。家族の集合場所などを決めて、裏表紙の「我が家の防災メモ」を完成させましょう。また、自宅にメモを残す場合、わかりやすい場所に貼ると泥棒に入られる可能性があります。メモを貼り付ける場所を事前に決めておくことを推奨します。



**大事なことは、備えです。**

# 状況に応じた避難をしましょう

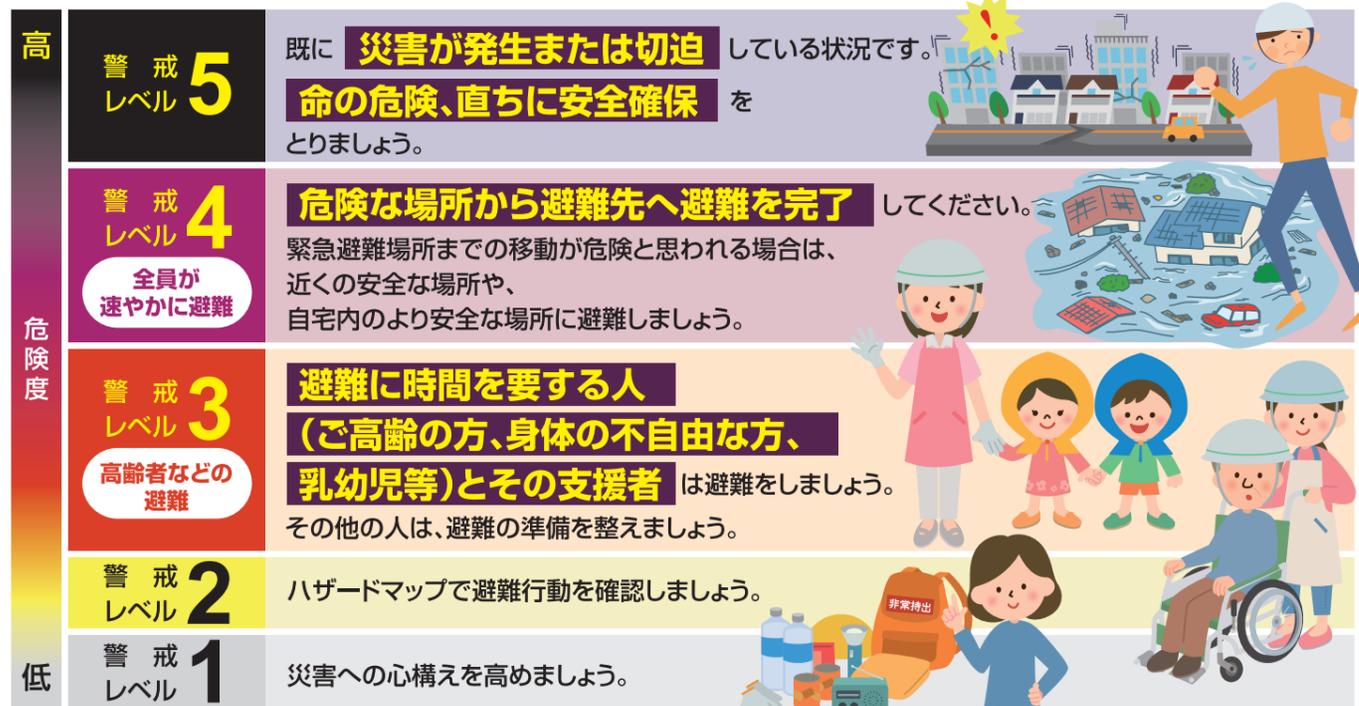
ため池決壊による、浸水の深さを想定した避難の流れを表しています。



# 被害の正確な情報を知りましょう

避難情報が発令された場合には、さまざまな手段で住民の皆さんに伝達します。ただし、ため池の避難情報は「警戒レベル」で発令することはありません。地震や洪水などの災害避難情報を参考に避難を開始してください。

指定の避難所へ必ず避難を完了してください。



※各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。 ※危険を感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。 ※逃げ遅れによる被災が多くなっていますので、早めの準備が必要です。

# 最新情報を確認しましょう

災害時には、自分で積極的に情報収集することが大切です。防災情報をテレビ、インターネット、メールなどで確認してください。



## テレビで調べる

まずテレビをつけて、何が起こったのか、現在の状況や今後の見通しなど最新の情報を確認してください。

## 防災メール・まもるくん

福岡県による防災情報などのメール配信システムです。いざという時のために登録し、情報収集に役立ててください。詳しくは福岡県総務部防災機器管理局のホームページをご覧ください。

下記アドレスに空メールを送信し、折り返し届いたメールに従って登録してください。

https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/mamorukun/service.html

QRコード読み取り機能付き携帯電話の場合はこちらから→

## インターネットで調べる

福岡県防災ホームページ

https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php

福岡県河川防災情報

http://www.kasen.pref.fukuoka.jp/bousai

福岡県県土整備部砂防課

http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/

福岡県ホームページ

https://www.pref.fukuoka.lg.jp/

## 防災行政無線

災害情報を屋外スピーカーでお知らせします。屋外スピーカーの音声は、家の中や豪雨時には聞き取りにくい場合があります。聞き取れなかった場合は、テレビや町のホームページなどで最新の情報を確認しましょう。

## 緊急速報メール

川崎町内のエリアにある携帯電話に対して一斉送信するサービスを利用して緊急災害情報を提供しています。機種により受信できない場合や受信設定が必要になる場合がありますので詳しくは各携帯電話会社にお問い合わせください。

国土交通省(川の防災情報)

https://www.river.go.jp/

福岡管区気象台

https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/

九州電力送配電(停電情報)

https://www.kyuden.co.jp/td\_info\_teiden/fukuoka.html

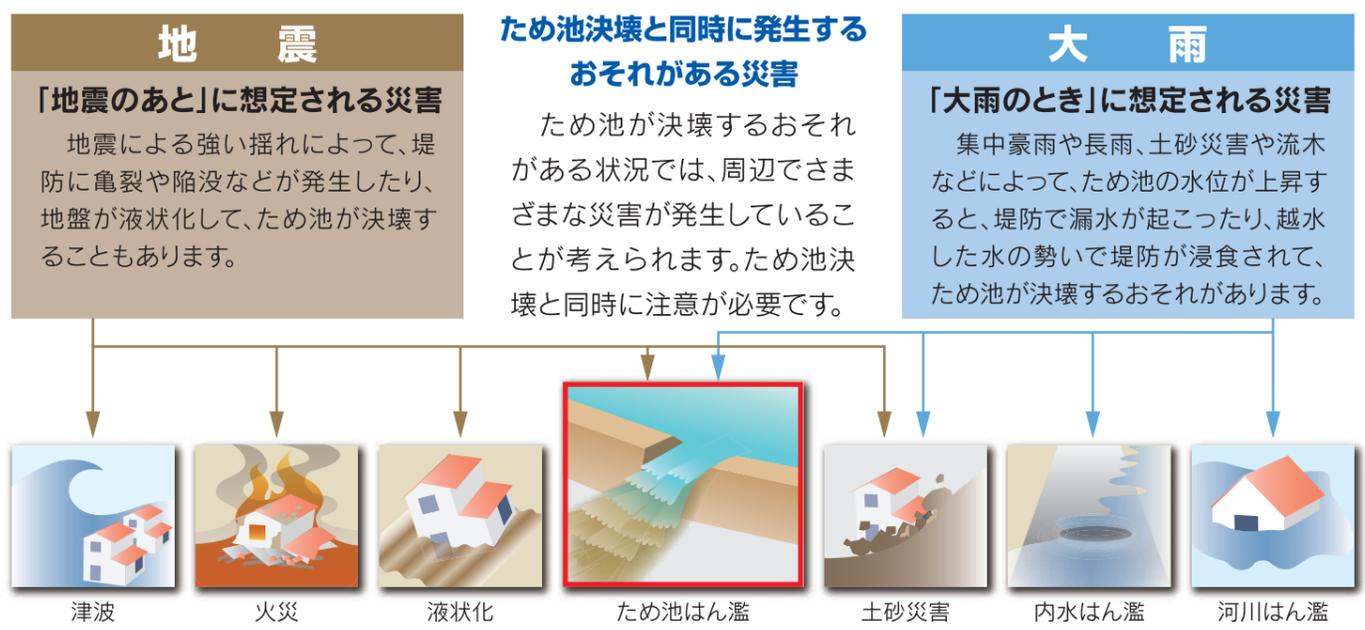
川崎町ホームページ

https://www.town-kawasaki.com/

## 水害・土砂災害に関する防災情報のお問い合わせ

気象	注意報、警報、特別警報 土砂災害警戒情報 雨量レーダー情報 など	気象庁ホームページ 【お問い合わせ先】 福岡管区気象台	https://www.jma.go.jp/jma/index.html TEL:092-725-3600
水害	雨量情報 河川水位情報 ダム情報 河川監視カメラ映像 洪水浸水想定区域 など	気象庁ホームページ 【お問い合わせ先】福岡管区気象台 国土交通省・川の防災情報 福岡県河川防災情報	https://www.jma.go.jp/jma/index.html TEL:092-725-3600 https://www.river.go.jp/ http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/
土砂災害	土砂災害関連情報 土砂災害危険度情報 土砂災害警戒区域 など	福岡県土砂災害関連情報 【お問い合わせ先】 県土整備部砂防課	http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/ TEL:092-643-3678
避難	避難勧告等の発令基準 避難計画の活用 など	福岡県防災情報ポータルサイト 川崎町役場防災管財課	https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php TEL:0947-72-3000

ため池は農業用水として利用されるほか、洪水の調整機能を持つなど皆さんの暮らしに役立っています。ため池の役割を発揮するため、管理者は日頃から点検や補修などを行っています。場合によっては決壊するおそれがあります。



### 地震によるため池の被災

- クラック**
  - 堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。
  - 堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
- 沈下**
  - 堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。
  - 多くは、軟らかい地盤で発生しています。
- 斜面崩壊**
  - 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで、変形が生じる場合があります。
- 斜面すべり**
  - 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
- 崩壊**
  - 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。
  - 決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

### 大雨によるため池の被災

- 浸透破壊**
  - 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。
  - また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
- すべり破壊**
  - 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
- 越流破壊**
  - 大雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。
  - また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

ため池が決壊すると、水や電気などのライフラインは停止し、流通機能も麻痺します。このような事態を想定し、食料や水、生活用品など、災害時に必要となる物資を普段から備えておく必要があります。

どのような物資をどれだけ備えるか、一人ひとり異なってきます。また、災害時に必要な物は、時間の経過に伴って変化していきます。長期間の対応に備え、事前に確認・準備しておきましょう。

**ローリングストック法について**      **冷蔵庫の食料品を有効活用しよう**

災害用の長期保存(3~5年)が可能な保存食を用意するだけが備蓄ではありません。缶詰やレトルト食品など普段利用している食品を最初に多めに購入しておき、日常生活の中で消費したらその分補充すれば、常に一定量を確保することができます。これが「ローリングストック(回転備蓄)法」です。この方法は、ポリ袋やラップなどの生活用品でも使えます。日頃から余分に買い置きしておけば、災害時に大いに役立つでしょう。

多くの家庭では、冷蔵庫にも買い置きや作り置きしている食料品が一定量保管されていることでしょう。冷蔵庫も食料品の備蓄場所と見なせば、数食分の食料品は確保できるかもしれません。停電時もしばらくは食材の保管場所として役立つ冷蔵庫。食料品の「備蓄庫」として上手に活用しましょう。

**災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるよう持ち出し品リストに☑しましょう**

<input type="checkbox"/> 非常食・缶詰類 	<input type="checkbox"/> ペットボトル水 	<input type="checkbox"/> 保存食 	<input type="checkbox"/> 救急箱 	<input type="checkbox"/> 常備薬・包帯 
<input type="checkbox"/> トイレトーパー 	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー 	<input type="checkbox"/> マスク 	<input type="checkbox"/> 貴重品・現金 	<input type="checkbox"/> 蝋燭・ライター 
<input type="checkbox"/> ヘルメット 	<input type="checkbox"/> 手袋・軍手 	<input type="checkbox"/> ランタン 	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 	<input type="checkbox"/> リュックサック 
<input type="checkbox"/> カセットコンロ 	<input type="checkbox"/> ガスボンベ 	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ 	<input type="checkbox"/> 乾電池 	<input type="checkbox"/> 携帯電話・スマホ 



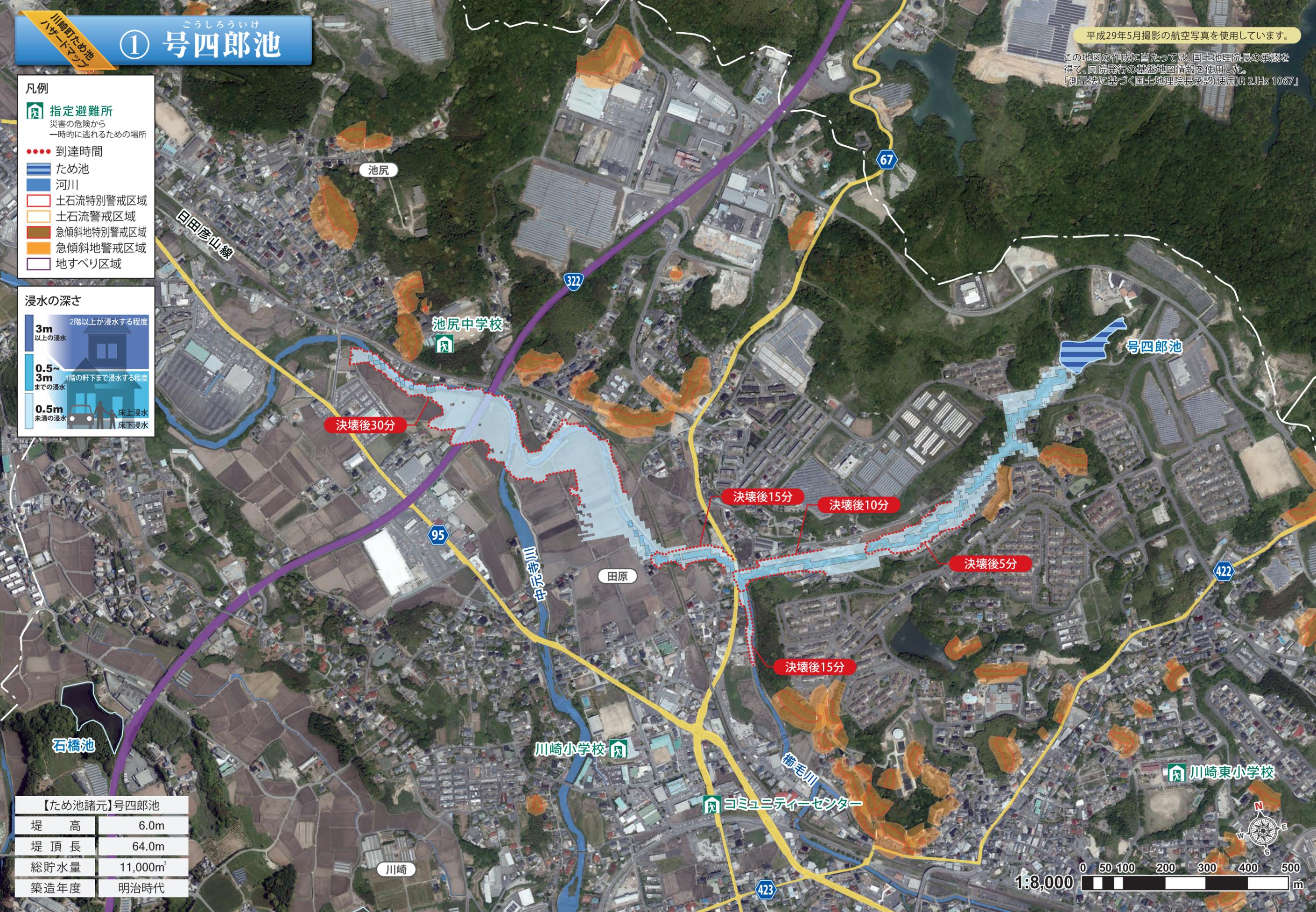
こうしろういけ  
**① 号四郎池**

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067」

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃げるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水、床下浸水



【ため池諸元】号四郎池

堤高	6.0m
堤頂長	64.0m
総貯水量	11,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代

川崎町ため池  
ハサードマップ

のろがいけ

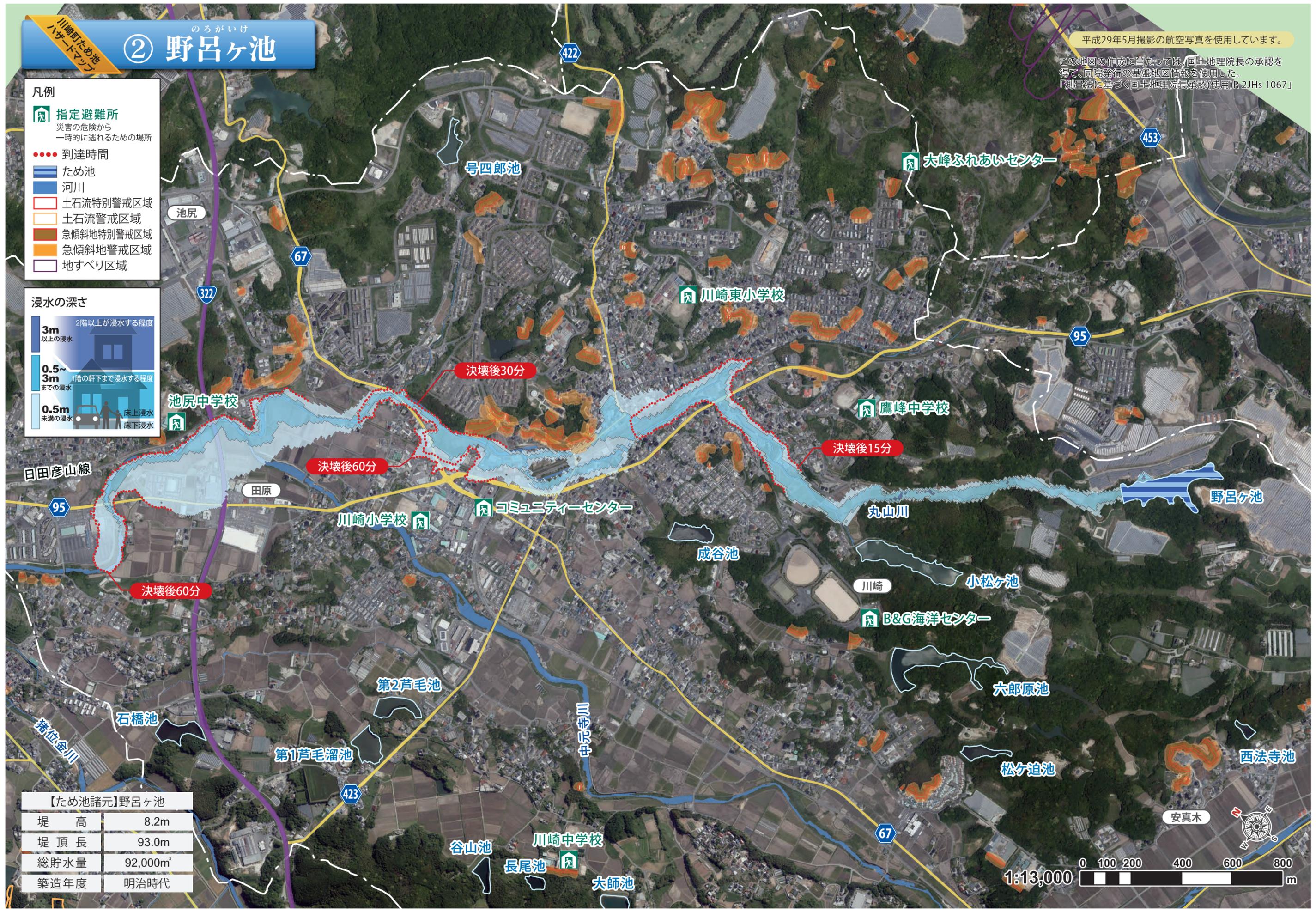
# ② 野呂ヶ池

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R-2JHs 1067」

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水、床下浸水



【ため池諸元】野呂ヶ池

堤高	8.2m
堤頂長	93.0m
総貯水量	92,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代



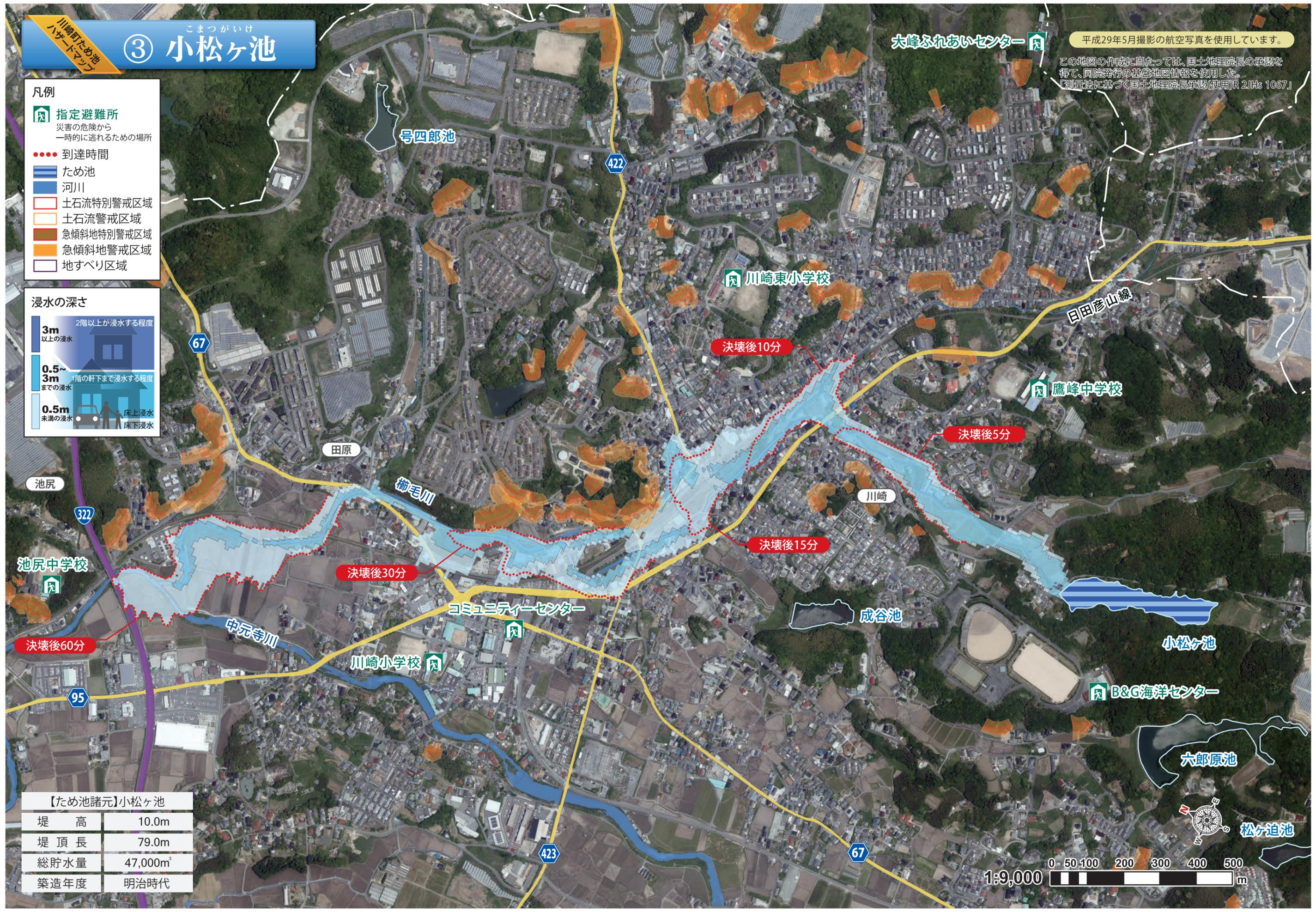
こまつがいけ  
**③ 小松ヶ池**  
 川崎町ため池  
 ハサードマップ

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067」

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水、床下浸水



【ため池諸元】小松ヶ池

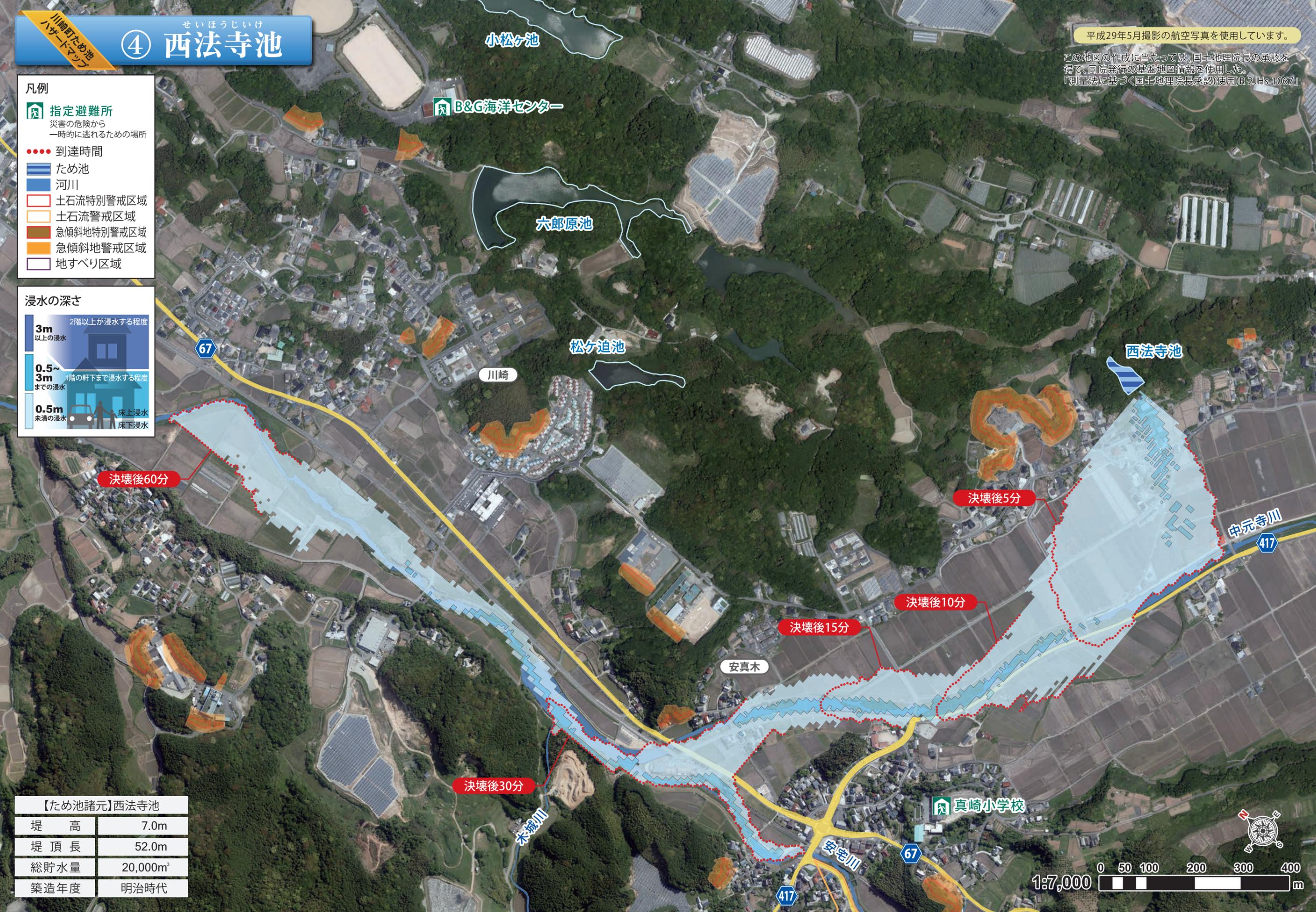
堤高	10.0m
堤頂長	79.0m
総貯水量	47,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代

せいほうじいけ  
④ 西法寺池

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m 以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3m までの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m 未満の浸水  
床上浸水 床下浸水

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067〕

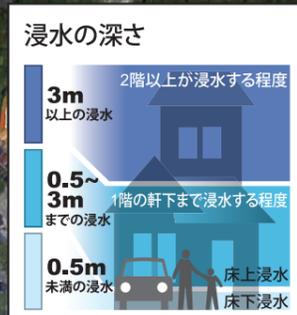


【ため池諸元】西法寺池

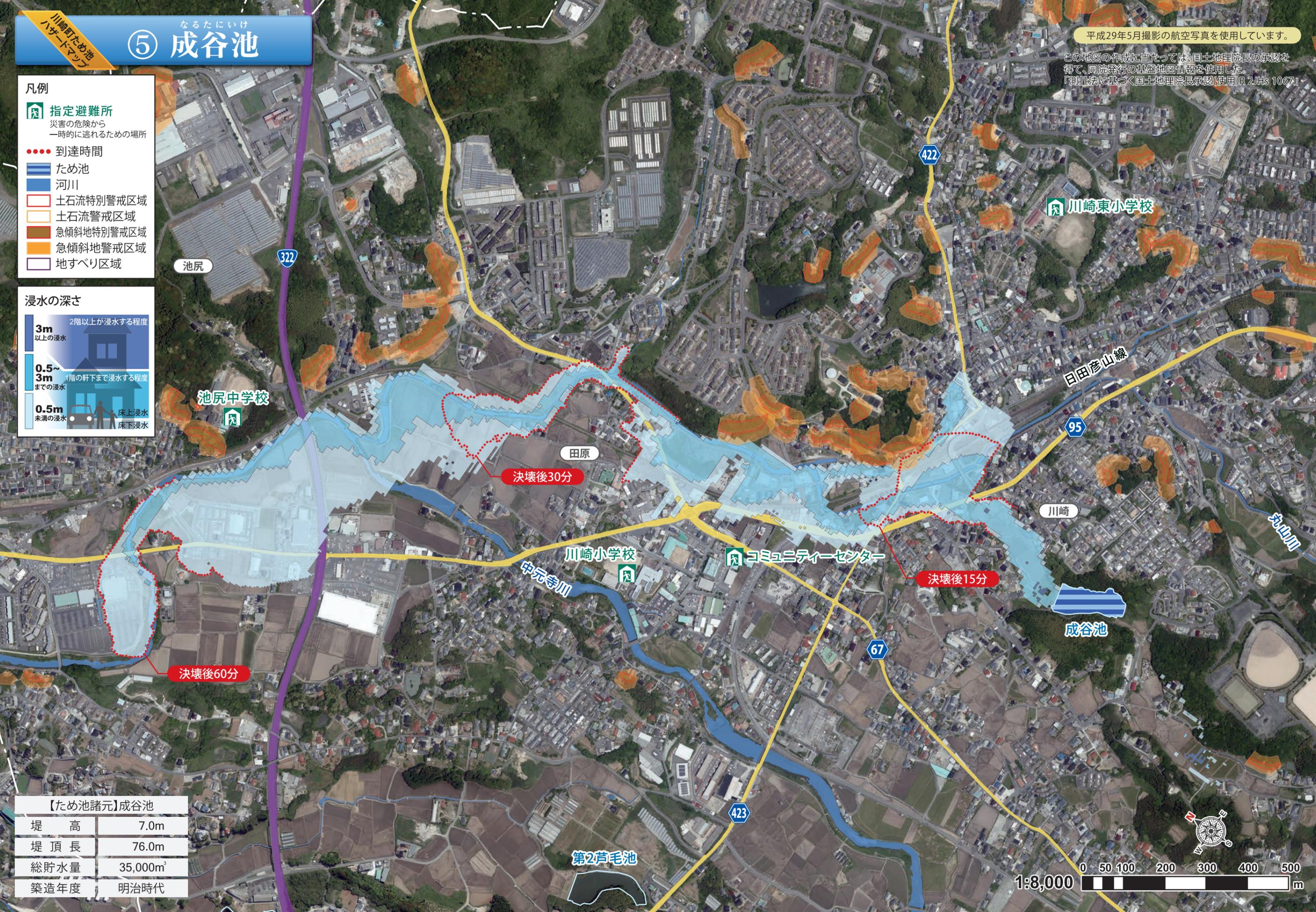
堤高	7.0m
堤頂長	52.0m
総貯水量	20,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代

なるたにいけ  
⑤ 成谷池

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域



平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067〕



【ため池諸元】成谷池

堤高	7.0m
堤頂長	76.0m
総貯水量	35,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代

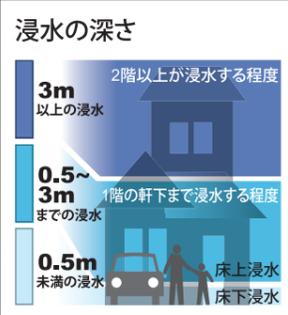


ろくろうばるいけ  
⑥ 六郎原池

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067」

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃げるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域



【ため池諸元】六郎原池

堤高	7.0m
堤頂長	180.0m
総貯水量	45,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代

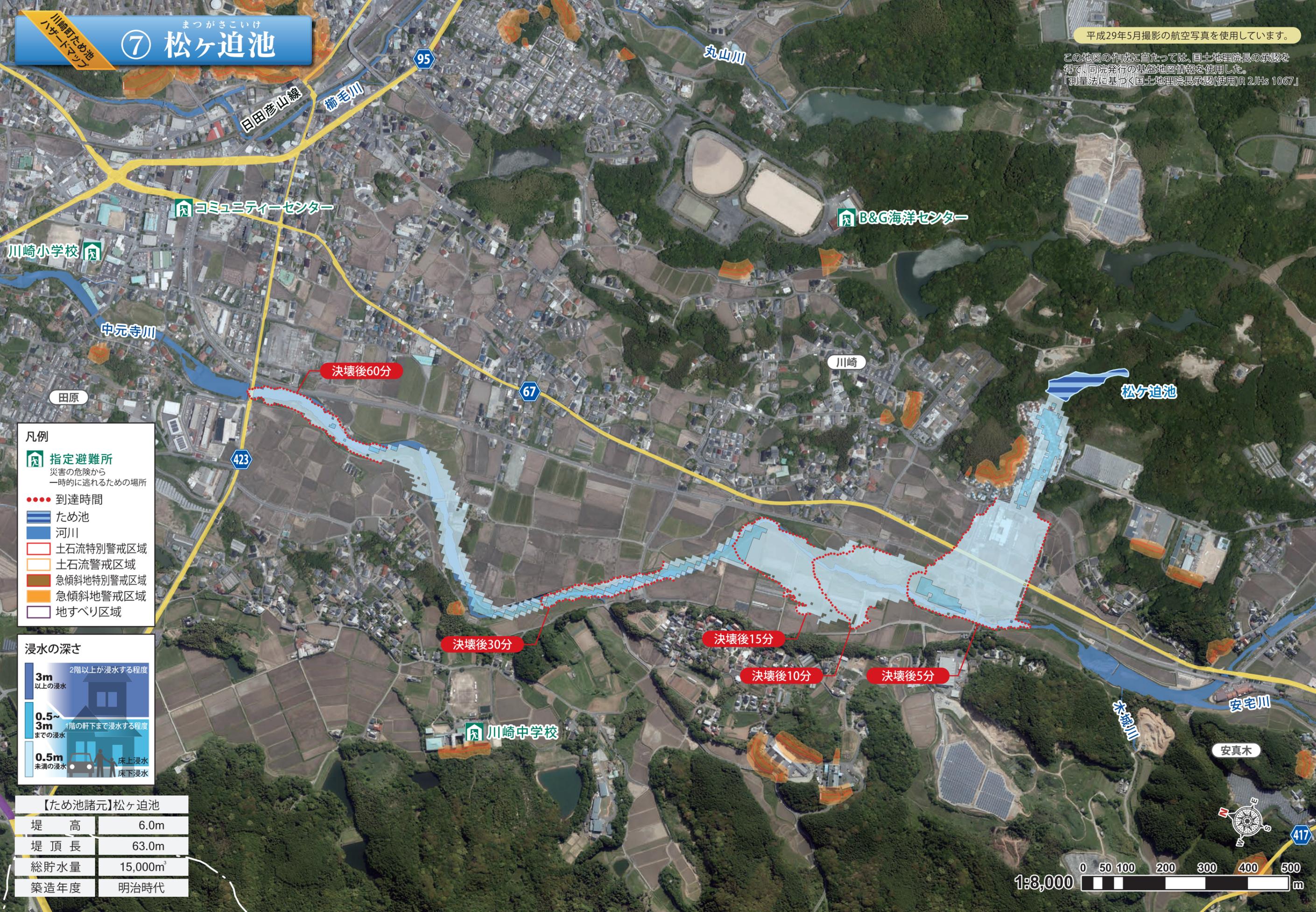
川崎町ため池  
ハサードマップ

# ⑦ 松ヶ迫池

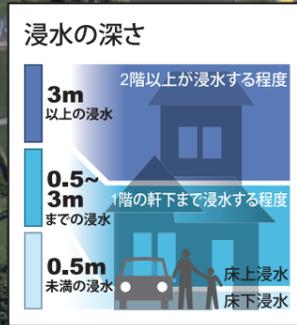
まつがさこいけ

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067」



- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域



【ため池諸元】松ヶ迫池

堤高	6.0m
堤頂長	63.0m
総貯水量	15,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代



川のうらいけ  
⑧ 手ノ浦池

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067」



浸水の深さ

- 3m 以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
- 0.5~3m までの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
- 0.5m 未満の浸水  
床上浸水 / 床下浸水

【ため池諸元】手ノ浦池

堤高	7.0m
堤頂長	71.0m
総貯水量	25,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代



川崎町ため池  
ハサードマップ

だいいちあしげためいけ

# ⑨ 第1芦毛溜池

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
【測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067】

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水  
床下浸水



【ため池諸元】第1芦毛溜池

堤高	7.8m
堤頂長	96.0m
総貯水量	27,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代

川崎町ため池  
ハサードマップ

だいにあしげいけ

# ⑩ 第2芦毛池

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067〕

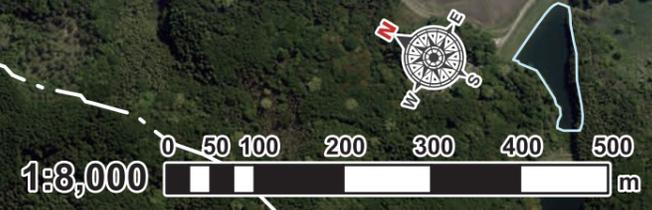
- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水  
床下浸水



【ため池諸元】第2芦毛池

堤高	6.8m
堤頂長	87.0m
総貯水量	27,000m <sup>3</sup>
築造年度	昭和時代



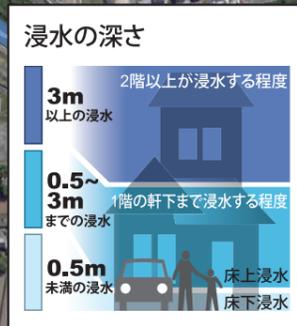
川崎町ため池  
ハサードマップ

# ⑪ いしばしいけ 石橋池

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
[測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067]

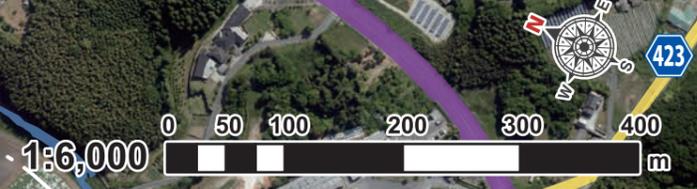


- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域



【ため池諸元】石橋池

堤高	5.5m
堤頂長	169.0m
総貯水量	23,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代



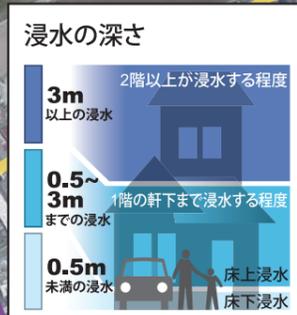
川崎町ため池  
ハサードマップ

# ⑫ たにやまいけ 谷山池

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

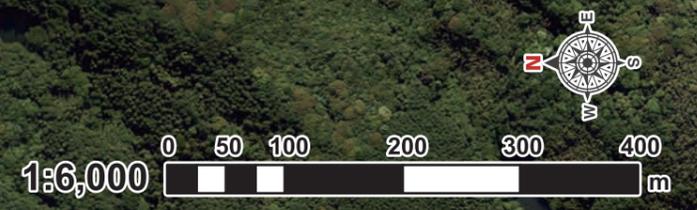
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067」

- 凡例**
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域



【ため池諸元】谷山池

堤 高	8.4m
堤 頂 長	100.0m
総貯水量	15,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代



ながおいけ  
⑬ 長尾池

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

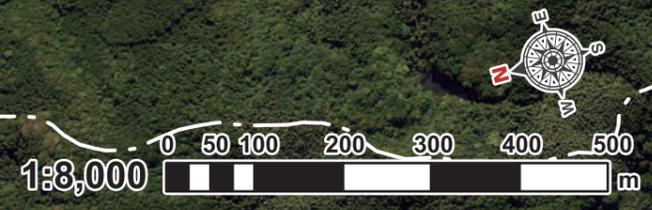
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067」

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水、床下浸水

【ため池諸元】長尾池

堤高	5.6m
堤頂長	42.0m
総貯水量	13,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代



川崎町ため池  
ハサードマップ

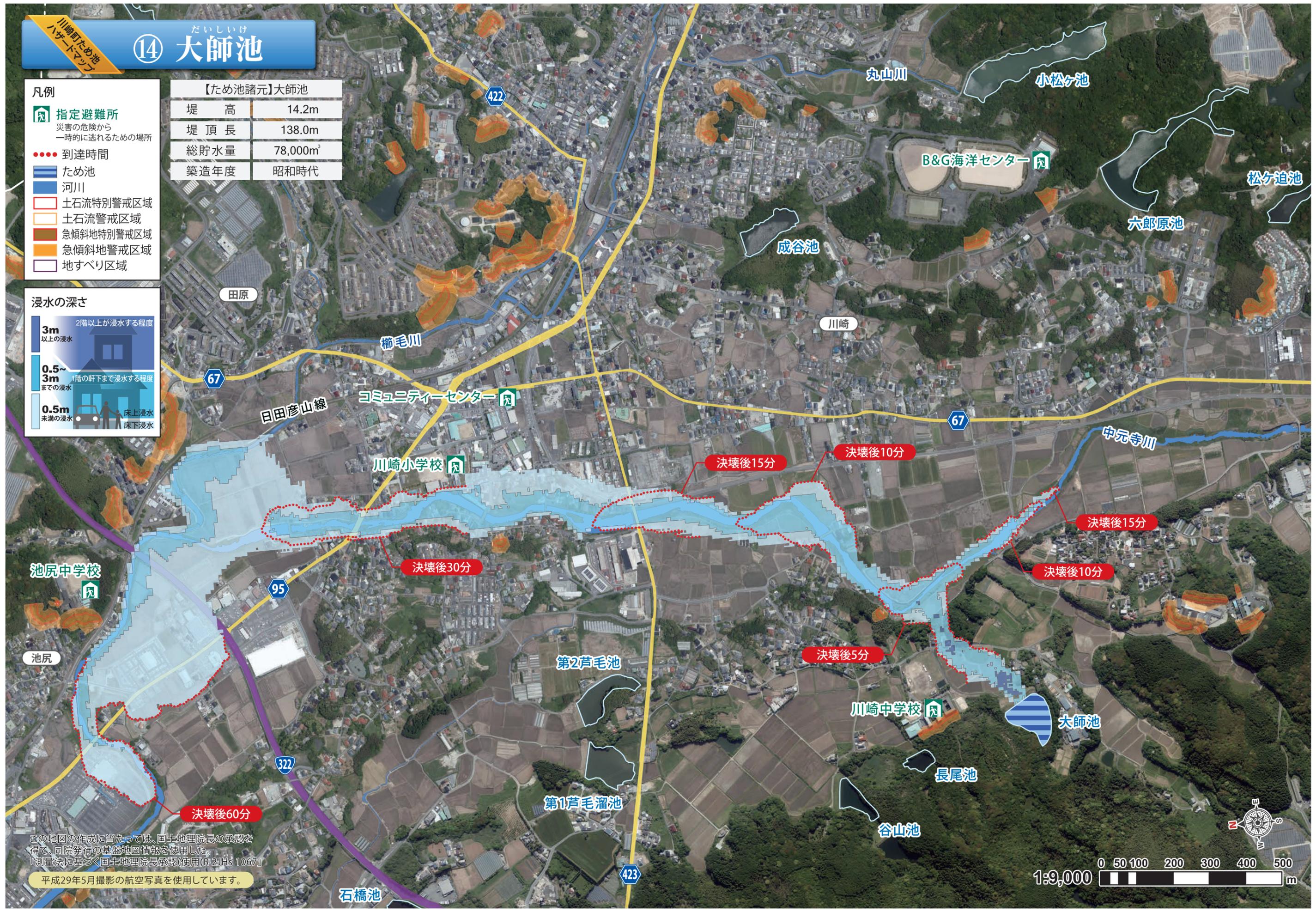
だいしいけ  
**14 大師池**

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃げるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

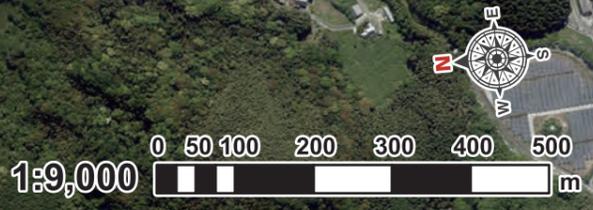
【ため池諸元】大師池

堤高	14.2m
堤頂長	138.0m
総貯水量	78,000m <sup>3</sup>
築造年度	昭和時代

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水 床下浸水



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 『測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs 1067』  
 平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。



川崎町ため池  
ハサードマップ

だいおういけ  
**15 大王池**

平成29年5月撮影の航空写真を使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
[測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1067]

- 凡例
- 指定避難所  
災害の危険から一時的に逃れるための場所
  - 到達時間
  - ため池
  - 河川
  - 土石流特別警戒区域
  - 土石流警戒区域
  - 急傾斜地特別警戒区域
  - 急傾斜地警戒区域
  - 地すべり区域

- 浸水の深さ
- 3m以上の浸水  
2階以上が浸水する程度
  - 0.5~3mまでの浸水  
1階の軒下まで浸水する程度
  - 0.5m未満の浸水  
床上浸水  
床下浸水



【ため池諸元】大王池

堤高	7.0m
堤頂長	79.0m
総貯水量	21,000m <sup>3</sup>
築造年度	明治時代